

《アンサンブル・クレセント と シリーズ演奏会》

「アンサンブル・クレセント」は札幌在住の弦楽器奏者による演奏集団です。室内楽芸術を皆さんと共有する活動を志とします。この度、J.S. バッハのゴルトベルク弦楽三重奏版全曲演奏を目標に結成されました。

更には、知られざる名曲の発掘と紹介にフォーカスしたプログラムに取り組もうとしています。

アンサンブルの結成は2022年7月。今回のシリーズ演奏会に臨みます。メンバーは、ヴァイオリン・森本千絵、ヴィオラ・猿渡美穂子、チェロ・山田慶一による弦楽トリオと、このシリーズの2回目からはヴァイオリンの森由紀子も加わり、イギリス人作曲家の弦楽四重奏作品の紹介をして参ります。

シリーズのコンサートは全部で6回。2023年に3回開催(第Ⅰ期)と2024年に3回(第Ⅱ期)、2年にわたり、クラヴィーア演奏とは味わいの異なる弦楽三重奏の響きでゴルトベルクを毎回の演奏会の最初に5~6曲ずつ弾き進め6回で完奏します。後半ではイギリス作曲家の室内楽作品を紹介。全く異なる切り口のような欲張ったシリーズに思えますが、バッハのクラヴィーア作品が後世に与えた芸術性の影響とその連鎖や時代の流れ、更には歴史や文化の変遷などにも興味を広げながら、皆さんと音楽の意外な繋がりを発見出来れば！と夢見ています。

《メンバー・プロフィール》



●Violin/ヴァイオリン/Chie Morimoto 森本 千絵 (もりもと ちえ)

京都市立芸術大学卒業。(財)名古屋フィルハーモニー交響楽団入団。以後英国留学。英国王立音楽大学演奏家資格取得。名古屋市文化振興事業団新進芸術家助成対象者に選ばれ、ヨーロッパ5か国でマスターコース受講、演奏する。これまでに内外での招聘、自主リサイタル、プロオーケストラとの共演、室内楽など演奏多数。「音楽の友」はじめ各誌面にて演奏を高く評価。2017年より(英)シェパーン夏期音楽講習会に招聘。後進の指導にあたる。現在、名古屋と札幌を拠点に活動中。



●Violin/ヴァイオリン/Yukiko Mori 森 由紀子 (もり ゆきこ)

愛知県立明和高校音楽科を経て、京都市立芸術大学音楽学部器楽科卒業。卒業後渡独。ビュルツブルグ音楽大学、ロストック音楽大学院にて、引き続き研鑽を積む。ニュルンベルグ州立歌劇場に所属。その他ドイツ国内の歌劇場にてオーケストラや室内楽奏者として活動。現在札幌在住。オーケストラのエキストラや後進の指導にあたる。



●Viola/ヴィオラ/Mihoko Saruwatari 猿渡 美穂子(さるわたり みほこ)

東京音楽大学器楽科ヴァイオリン卒業後、ドイツ・ハンブルグへ留学。International College of Music, HamburgにおいてMaster of performanceを卒業。ヨーロッパ各地でマスタークラス受講、演奏会出演。帰国後、札幌新人演奏会出演。札幌市民芸術祭奨励賞受賞。2017年神戸と札幌で初のヴィオラリサイタルを開催。現在札幌を中心に室内楽やオーケストラで演奏する傍ら、後進の指導にあたっている。



●Cello/チェロ/Keiichi Yamada 山田 慶一 (やまだ けいいち)

新潟大学及び国際スズキ・メソード音楽院を卒業。エマ・フェランド、ジャン・ギアン＝ケラス、ミクローシュ・ペレーニの公開レッスン受講。これまでに世界的に活躍するチェロ奏者の林峰男氏、フルート奏者のフェリックス・レングリ氏、フィリピンフィルハーモニック管弦楽団と共演。A.ピアラン作曲のソナタ、ピアノ五重奏曲を日本初演。現在スズキ・メソード、チェロ科指導者、北海道教育大学岩見沢校非常勤講師を務めている。